

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DIYホームセンターハンズマン	階数	地上3F
建設地	松原市新堂町4丁目	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	5,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,840 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年9月22日
敷地面積	32,457 m ²	作成者	黒岩建築設計株式会社
建築面積	15,430 m ²	確認日	2021年9月22日
延床面積	27,773 m ²	確認者	黒岩建築設計株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地外周接道部の緑地帯、建物には壁面緑化を設けることで地域的美観の形成や快適性に配慮し、屋根には太陽光発電を設けることで循環型社会、省資源社会の発展に貢献できる計画としている。	
その他		
Q1 室内環境	F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境にも十分に配慮している。	Q2 サービス性能
		階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。
Q3 室外環境(敷地内)		外灯、防犯カメラを設置することにより防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル
		自動水栓、節水コマ、泡沫水栓などの省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。
		LR3 敷地外環境
		燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0111

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)DIYホームセンターハンズマン 松原店 新築工事					
	建設地	松原市新堂町4丁目					
	用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					1	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	1.0	1
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.4	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	屋根には太陽光発電を設けることで循環型社会、省資源社会の発展に貢献できる計画としている。	